

市販タイヤ中の DZ 含有量の測定結果

((社)日本自動車タイヤ協会提供)

平成 18 年 3 月 1 日

化成品工業協会

加硫促進剤 DZ 自主管理委員会

表 1 各社タイヤ中の DZ 分析結果

メーカー名 商 品 名	E 社 X 品	F 社 Z 品	G 社 A 品	H 社 C 品	I 社 O 品
測定方法	タイヤを 4 等分し、各部分のスチールコード付近のカーカス部を切り取り、2 mm 角に切断して均等に混合する。この試料をアセトンで約 8 時間ソックスレー抽出し、抽出液に含まれる DZ を JIS K 6220-2 に準拠して高速液体クロマトグラフ法で測定する。(定量下限値 ; 30 mg/kg ^注)。 注: タイヤなどゴム製品中の加硫促進剤残渣の定量分析では、分析上で影響を与える油分、老化防止剤などの含有量が多いため、30 mg/kg (30ppm) が定量下限値となる。				
測定結果	N.D. (n=3)	N.D. (n=3)	N.D. (n=3)	N.D. (n=3)	N.D. (n=3)
測定実施者	財団法人 化学物質評価研究機構				

N.D.: 定量下限値未満